

志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ「イマジン ロータリー」
 2022-23年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」
 2022-23年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎「新たな一歩」

第2367回 移動例会

2023-6-7

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 田中 幸彦 SAA
- ◎四つのテスト 田中 幸彦 SAA
- ◎ゲスト 中川 克則様(志木市スポーツ少年団)

また、8名の新会員を迎えることが出来、とても嬉しく思います。会員増強・R情報委員会、また夜間例会を盛り上げていただいた親睦活動委員会、多数のメンバーに参加いただいた献血を担当した社会奉仕委員会、ワークショップをお願いしました研修リーダーの林さん、そして、全会員に改めて感謝を申し上げます。



さて、振り返りますと私は、今まで中途半端で終わるような人生だったのかな、と思っていました。ですから70歳を手前にして、ロータリークラブの会長を仰せつかった時には、これだけは中途半端なことにならぬよう、最後まで全うしようと考えていました。会長の時間などで、一番苦手である人前でのスピーチはこれまでやってこなかったもので、それはそれは、本当に辛かったです。回を重ねる毎に慣れてくるだろうか、続けていれば少しは何とかなるかなと思っていましたが、それほど進歩はしませんでした。これからは、もう人前で話すことはあまりないと思いますが、自分にとって良い経験でした。

「会長挨拶」

会長 小林八郎



本日で通常例会は最終となり、残るは6月22日の夜間例会のみとなりました。この1年間、色々なことがありましたが、まず三上副会長、吉原幹事には、全てにおいてご協力いただき、心より感謝申し上げます。そして、ガバナー補佐を引き受けていただきました清水和之さん、本当にありがとうございました。

今年度は、気象変動による災害もあり、相変わらずコロナが完全には終結しませんでした。それでも自分自身が思い描いていた予定は、おおよそ達成できたのではないかと考えています。志木クラブの将来、未来を描くために、今年度テーマとした「新たな一歩」を皆さんと共に考えることも、ワークショップなどを通じて実践できました。

しかし、一つ悔いが残るとすれば、親睦旅行ができなかったことです。それは、市之瀬次年度にお願いしたいと思います。

最後になりますが、皆様のご協力により私

の人生の思い出に残る一年間になりました。
本当にありがとうございました。

「次年度理事会報告」

1. オンライン例会業務委託報酬の件
地区公共イメージ委員会からの要請もあり、引き続きオンライン例会を継続していきたい旨を説明。現在の1回当たり5,000円の費用負担を考えている。上記内容を諮ったところ会長一任という意見で一致した。ただし、金額負担が妥当かどうかは見積書にて確認したほうがよいという意見があった。
2. 出席免除者の件
出席免除申請者の要件を満たす会員3名から申請があり、承認された。
3. 次年度理事会日程の件
次年度理事会日程について、予定表にて第1例会開催日の11時に開催する旨が承認された。
4. 次年度例会開催時間の件
7月から11月までは第1週と第3週を例会開催日とし、開催時間は12時30分開始とし、また、友記事紹介を第3週とする旨が承認された。
5. その他
その他報告事項として、新入会員向けのロータリージャンパーが不足していることから、白色でつくることとなった旨が報告された。

「幹事報告」

幹事 吉原 正



1. 地区事務所より4件受信
 - ①トルコ・シリア災害支援金送金締切のお知らせ
 - ②2023-24年度、年度初め地区役員合同会議開催のご案内
 - ③地区（クラブ）研修リーダーの名称変更について

- ④国際ロータリー第2570地区役員・委員の皆様へ
2. 志木市商工会より「令和5年度第63回通常総代会」資料冊子の送付について受信

「委員会報告」

- 親睦活動委員会 委員長 宮田泰彦
6月22日(木)18:00 スエヒロ様で小林年度最終例会を行います。現在49名の参加頂いております。是非遅刻なきよう願います。

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 委員長 金剛光裕

『ロータリーの友』6月号記事紹介

【横組】

P7～ ロータリー親睦活動グループ

RI公認の親睦活動グループが100以上あるそうです。趣味を通して海外の仲間とつながりロータリーの国際性を体感しよう！との事。主にスキーやモーターサイクルが紹介されていました。

P26 世界中で活躍する「世界を変える行動人」

世界各国で具体的に奉仕活動しているクラブを紹介しています。

【縦組】

P20 友愛の広場

人と人のつながりについての投稿です。親睦の必要性や子供のころからの縁からのクラブ会員同士の結婚等、微笑ましい記事です。また子供食堂についても書かれていて、子供にとっての悩みは、金銭的な事だけでなく人間関係や学習他、複数の要因があるようです。

「助成金贈呈」

会長 小林八郎



志木市スポーツ少年団 中川克則様

【今月の誕生日祝】 親睦活動委員長 宮田泰彦



- 1日 山村昭康会員 1日 金剛光裕会員
- 2日 山田大智会員 3日 塩野 章会員
- 29日 清水和之会員

【クラブ協議会】

議長:小林八郎会長

【クラブ奉仕委員会】

委員長 高橋健一郎



ご存知の通り、クラブ奉仕委員会には、9つの委員会があります。それぞれの委員会が委員長を中心にして、

コロナ禍の中、一生懸命頑張ってくださいました。

その中でも特に、小林会長の方針により、親睦活動委員会と会員増強委員会には必死に活動していただきました。

親睦の宮田委員長には、10月に残暑払い、12月に年忘れ、2月に新年会を企画・実行していただきました。親睦旅行に行けなかったことは残念ですが、榎本今年度委員長に期待しています。

そして、なんとといっても今年度 MVP は、増強の大村委員長です。1月に、泉谷友広会員、鈴木忍会員、戸國大介会員、山田大智会員、4月に、鴨下秀幸会員、白井義尊会員、高橋良会員、爲井公拓会員と計8名の新会員を迎えることができました。

更に次年度には、細田いづみさん、田幸御加さんも入会ということで、小林会長も、さぞご満足ではないかと察する1年となりました。

【職業奉仕委員会】

委員長 末富啓道



昨年度コロナ禍で委員会の活動ができなかった為、本年度の計画も昨年度に準じてほぼ同じ目標を掲げま

したが、コロナ禍が収まる気配もなく活動ができなかったことを残念に思っています。次年度こそ、実行できることを期待して、報告に代えさせていただきます。

【社会奉仕委員会】

委員長 遠藤貴博



今年度の社会奉仕委員会では8つの事業を計画いたしましたので、活動実績をご報告致します。

- 1.川と街をきれいにする運動に関しては、まず昨年10月はコロナにより中止となり、先月5月の回は雨天の為こちらも残念ながら中止となりました。
- 2.コミュニティ協議会への参加協力ですが、各委員会メンバー協力のもと親水公園除草作業及び会議、総会等に参加をさせていただきました。
- 3.社会福祉協議会に関しましては影山副委員長により参加協力させて頂いております。
- 4.いろは子供文化賞へは会員の皆様のご協力をいただきまして、9月に実施し「夢と絆あふれる志木の街」を選んでいただきました。
- 5.志木市観光協会では、星野会員を筆頭に多くの会員の皆様にご協力頂いております。
- 6.ロータリーの森の清掃活動につきましては、こちらも多くの会員の皆様と3月に実施できました。
- 7.地下道壁画の維持管理では会長幹事を筆頭に、壁画清掃を11月に行いました。
- 8.その他地域のニーズに応じた社会奉仕活動ですが、市役所より依頼のありました時計塔の設置をスケジュール調整しながらですが進行中です。

最後に会長より直々要望のありました川と街をきれいにする運動に代わる奉仕活動ですが、4月に行いました献血活動を細田学園奉仕部顧問の林先生に見ていただきましたところ、是非機会があれば共に活動をしましようとの事でしたので、今後の献血活動を志木RCと細田学園さん、更には他団体とも共に行える事業に発展し町ぐるみの活動へと、希望を感じられましたのでこれからも関わっていただけたらと個人的に考えております。

【国際奉仕委員会】

委員長 西川和人



基本方針にお示した通り、今年度の国際奉仕委員会としてはジェニファー・ジョーンズ RI 会長が重要課題として挙げた「DEI」について、理解を深めることを課題といたしました。年度を通じ、例会にて会員皆様へ「DEI」について取り上げることが出来ずに目標達成とは言い難い結果となり、たいへん申し訳なく存じます。

次年度国際ロータリーゴードンRマッキナリー会長エレクトは次年度のテーマを発表した際に、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。2570地区はもちろんのこと、志木ロータリークラブでも DEI の推進は重要な課題として捉えなければなりません。引き続き DEI の理解を進め、地域社会をより良い方向に変える力を養うプログラムの実施をいただけるように次年度委員会へ引継ぎいたします。1年間ありがとうございました。

【青少年奉仕委員会】

委員長 西浦建貴



基本方針には「青少年の健全な育成のための協力と支援」、並びにこうした活動への「ロータリアンの理解と共感」を掲げています。

本年度も例年と同様、継続して細田学園イ

ンターアクトクラブ(奉仕部)、ボーイスカウト、スポーツ少年団への活動支援としての助成金を進呈いたしました。中でも細田学園奉仕部さんとは社会奉仕委委員会からの提案もあり、今後も献血活動などをはじめとする様々な活動で協働していこうと意見交換をさせていただいております。又、青少年非行・薬物乱用防止活動としては、志木市青少年育成市民会議のキャンペーン活動を、市民まつりなどを通じてその啓発活動に参加してまいりました。

しかしながら一方で、本年度 2570 地区では「青少年奉仕に関する活動」が組織として組み込まれなかったため、事業計画に掲げているインターアクト事業、青少年交換事業、RYLA など地区と連携する事業が全く動かない状況でした。次年度では是非引き継いでいただきたいと思います。

最後に「ロータリー希望の風奨学金」に対しまして毎々ご寄付いただいている会員の皆様方におかれましては、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

【SDGs 特別委員会】

発表者 大村相基



今年度、2点について協議してきました。
1. 埼玉県に認証登録をとるかどうか

2. 「川とまちをきれいにする会」のように市の課題を解決し、必要とされる息の長い事業の開拓

1. については結論です。

2. については

①市内で子ども食堂が活発だが志木ロータリークラブでプラットホームの役割を担わないか(子ども家庭課)

②同じくフードパントリー活動も市内で活発に行われているのでプラットホームの役割を担わないか(市政情報課)

この2点について志木市から打診があるが、今年度は結論です。

以上を踏まえ、次年度に引き継ぎたい。



「卓話 ①」

「イニシエーションスピーチ」

白井義尊会員



こんにちは、土木工事の白井と申します。新潟県十日町市で生まれ、育ち、56歳になります。現在は志木市上宗岡に住所を構えています。

生まれの新潟県十日町市は平成17年に近隣一市二町二村が合併した市です。その豪雪地帯、例年3~4mの積雪と言われる場所で、生まれた時には身長が56cm、体重は3,750グラムあったということです。とにかく大きかった、と今でも母は言います。当時は戦後のまま、産めや増やせや育てろとの号令が続いた中、健康優良児という称号もいただき家中が喜んだ、と母子手帳に書かれていました。

小学生時代ですが習い事で小4~小6まで空手を習っていました。師範は地域の名士でお医者さんだったのでとにかく大きな声で挨拶をしないと大声で叱咤される、それは

それは怖い先生でした。その厳しい指導のお陰で、立ち方、挨拶の姿勢などは今でも体から抜けずに染みついているようです。

将来は漠然とし高校卒業ギリギリまで、進学するとも就職するとも考えずにいました。見兼ねた担任の先生が進めてくれたのが県立の職業訓練校でした。ここでの1年間で今この私の技術屋人生をスタートさせたと考えています。

ここで私は現場計算の楽しさ、勉強の楽しさがやっとわかりました。人間、どこかでスイッチが入るとき、タイミングがあります。

その非常に濃い実践授業を学び、20歳で地元の建設業者に入社しました。

土木と建築を手掛ける建設会社ですが後に30年も勤め、その後に埼玉が生活拠点になるとは思いもしません。

右も左もよくわからない若造が、協力業者さんたち諸先輩と仕事を進めていくわけですが、逆に若すぎて可愛がっていただいていたなど感じました。その後は市、県、国、公団などの土木工事を経験し、私自身が当時の先輩たちと同じ年齢になり若手を指導していく立場になるわけです。

その二十代、現場の仕事も楽しい時期に結婚をしました。

25歳、妻も同い年でそのままトントン拍子に子供も三人生まれ、再来月には初めて爺さんになります。

子供達三人はそれぞれに家庭を持つ、また持つ予定になり妻は今年三月で病院勤務の看護師を早期退職しました。

女性は強いですが、子供を産んで育て、看護師という大変な仕事も行い感謝しています。

これが紙面になり初めて妻に感謝の言葉が伝わります。

次は今日を境にして。

イニシエーションにより正式に志木ロータリークラブに入会したように思います。

昨年来より声掛けをしてくださった星野さん、高橋さん、入会前に丁寧にロータリーについて説明をいただいた大村さん、皆さんの好意に感謝をいたします。

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■新座RC 毎週(木) 12:30~13:30 ベルセゾン
■富士見RC 毎週(金) 12:30~13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041
事務局 049-251-6596

2367-5◇
志木RC会報

実は二年半前、2020年11月に思いがけず入院、そして手術をしました。

頭の病気になりますが、平日のある日に自身の体調不良に気づき、近くの病院へ軽い気持ちで行ったところ、そのまま大病院へタクシーで移動そして車椅子、ベッドから降りるなど言われたのです。

入院して二週間後に全身麻酔無しの4時間にわたる、手足の指の感覚を確認しながらの頭の手術になりました。無事に後遺症もなくリハビリもせず手術から三週間で退院しましたが、後日妻が担当医から本人が我慢して病院に来なければ一週間以内に天に行っていたでしょうと言われていたそうです。

私は思います、人間の直感って大事な、やはり何かあるときは胸騒ぎがする、って本当なんだなと思います。

そんな経験をしたからこそ元々前向き、ポジティブな性格がますます強くなりました。

本来なら経営の話をするのでしょが大病して考えが変わりました。

どうにもならないことは突然やってくる。

やってくればいろんなことを考えても自分は動けない場合があると。

そんな体調も完全に戻り大酒飲みが小酒飲みになり、60歳までもうひと頑張りだという時にこのロータリーの話が出てきたわけです。縁あって志木市に参り五年目、各界の皆さんにお世話になりながら、生かされたこの身、やはり何かしらの社会貢献をしていかなければと感じます。

「みんなが幸せになってこそ自分も幸せになれる」、そんな個人趣味の16歳から始めた献血も444回になりました。病気療養中の二年間は献血も控えていましたが昨年秋より再開でき身を持って社会貢献が出来る事、大変嬉しく思っています。

献血も一人では微々たるものですが、ロータリー活動を通じて広く皆さんに献血をしてもらうことは何よりの貢献と思います。

やはり体が資本。健康であれば仕事も楽しく、ロータリー活動も笑顔で、少ないお酒しか飲めない体になりましたが、会員皆様の叱

咤激励を受け自身も更に成長していき、この先の人生を過ごしていく所存です。

無理をせず頑張っ生きていきます。

本日は御清聴ありがとうございました。

(要約)

「卓話②」

「イニシエーションスピーチ」

高橋 良会員



皆様こんにちは。

3月より志木ロータリークラブに入会させていただきました高橋良です。

本日はイニシエーションスピーチのお時間をいただきありがとうございます。

1977年に千葉県船橋市にて生まれ、現在46歳です。趣味は、ゴルフ、ランニング、スノーボードです。

現在は埼玉県新座市で妻と長男と愛犬と仲良く暮らしています。妻とは27歳の時にカナダで出会い、現在は弊社の経理で働いています。

私は高校3年生の時に将来を考えたとき、スポーツトレーナーになりたいと思い、専門学校への進学を考えていました。両親を説得することができずに進学を諦めました。

そんな中、21歳の時に長野県北志賀高原にあるスキー場のロッジで働く機会がありました。ロッジ全般の仕事をこなし、時にはインストラクターとしてスノーボードも教えていました。

翌年には2010年冬季オリンピックも開催されたカナダのウィスラーブラッコムマウン

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブ 第2第4(土) 13:00～ 和光市中央公民館 事務局 048-465-0088

テンで一冬滑るために4ヶ月ほどウィスラーの街に滞在しスノーボードを堪能しました。

帰国後、半年後にカナダへのワーキングホリデービザを取得して再度カナダに行きました。予約もせずに片道航空券だけを持って行きましたが、その日の夜に英語も話せないし自分の将来が不安になってしまい、6人部屋の片隅で自分の将来を一晩考え、スノーボードを辞める決心をし、翌日ウィスラーからバンクーバーに移動しました。この日は私の人生にとってターニングポイントとなりました。

バンクーバーに移ってからは観光もオフシーズンで求人も少なく、20件ほどレジュメを配って雇ってくれたのが、東京で居酒屋を展開している会社から独立した居酒屋でした。このお店との出会いは私の飲食店で働くことの転機となりました。

旅行でアメリカはシアトルやオークランド、LA、またキューバのハバナやメキシコのカンクンにもいくことができました。気づけば計3年半がむしゃらに働いて今の基礎となる部分をたくさん経験、学ぶことができました。

バンクーバーで働いているうちに、海外で独立志向が芽生え、日本の飲食店で経験を積みたいと思うようになり、退社及び帰国を決めました。

海外生活4年半で感じたことは、「人の温かさ」でした。

一人初海外で助けてもらい、散歩して目が合えば笑顔で挨拶を交わし、日本にいる時とは違う感覚はとても新鮮で居心地の良い場所でした。

日本に帰国してからは、東京練馬に本社がある居酒屋に入社し、仕事はもちろん、休みの日も食べ歩いてとにかく勉強しました。会社も出店に積極的でしたので、練馬だけではなく、飯田橋、四谷と勤務を経て2007年、志木駅おうげんの立ち上げ店長として志木界限に移住してきました。

現在は、個人事業主2年を経て、株式会社Big Sky Projectとして法人なり12期目で、志木駅でおうげん、朝霞台、朝霞駅で弥次郎

兵衛を2件の居酒屋3店舗、テイクアウト専門店1店舗(FC店舗6店舗)、そして今月末にうどん屋をオープン予定で直営5店舗とまだまだ小さな会社ですが、「関わる人の心を満たし感動を追求し社会貢献し続ける」という理念を仲間とともに実現できるように一步一步、歩んでいこうと思っています。

独立して3年ほどしてからはNPO法人居酒屋甲子園という団体に所属し、「共に学び共に成長し共に勝つ」という理念のもと活動していました。全国の飲食経営者が集まったこの団体はとても刺激的な出会いや学びがたくさんありました。

創業者の大嶋啓介がよく口にする「大人が変われば子供が変わる、子供が変われば未来が輝く」という言葉にも感銘を受け、実行委員として3年、理事として4年間活動させていただきました。

毎月、全国各地で会議をしてたくさんの人と膝と膝を突き合わせ語りあったり、毎年パシフィコ横浜で全国大会を開催をする際、運営を任せられたりと、たくさんの学びと経験、そして仲間を得ることができました。

また、志木商工会青年部にもお誘い頂き、10数年ほど在籍させていただきました。最初の数年は出席もほぼできませんでしたが、少しずつ時間が作れるようになり、参加頻度があがると、近くに仲間ができていくことが楽しく新鮮で、徐々に青年部活動が楽しくなっていたように思います。大した貢献はできませんでしたが、「愛着のある街づくり特別室」の室長を仰せつかり、2019年10月に志木駅のペDESTリアンデッキで激辛スパイスフェス in 志木を開催させていただいたのはいい思い出で、現在も現役部員たちがブラッシュアップして引き継いでくれています。

この2つの団体ではたくさんの学びはもちろん、たくさんの出会いをいただきました。この経験は今後しっかりとアウトプットしていくのが私の使命だと思っています。

最後になりますが、このような機会をいただき自分自身を振り返って思うことは、「人生、

出会いの数だけ成長できる」「自分の身を置く
場所で未来はかわる」ということです。

どちらかというとな保守的な性格で経営も石
橋を叩いて渡るタイプですが、やはり挑戦を
し続けないと事業も成長しないと再認識でき
ました。

今後は志木ロータリークラブにも入会させ
ていただきましたので、ピンチをチャンスに
変えてきた先輩方からたくさんの刺激や学び
を頂きながら自己成長に繋げ、今後のロータ
リアンとしての活動にも誇りを持ち、地域活
動などに少しでも寄与できればと思っています。
ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

(要約)

●出席報告

出席向上委員会

会員数48名	出席義務者45名	免除者3名
本日出席 45名	本日欠席 3名	本日出席率 95.74%
前々回 MU (5名中1名)	前々回修正出席率 91.49%	平均出席率 86.73%